

本

あち 議会だより

令和4年(2022年)

第109号

1月20日発行

11月臨時会報告

11月24日開催の臨時会では2件の補正予算について審議しました。

pick up

令和3年度阿智村一般会計補正予算(第5号)について

主な質疑

中央自動車道西宮線と交差する伏谷橋撤去工事の※債務負担行為について

(期間…令和4年度～令和5年度、限度額…1億9400万円)

Q 村が67%、残り33%を中日本高速道路株式会社が負担するということを聞いたが、67%の算出根拠は。

A 県や市町村の費用負担を軽減し早期に撤去することを目的として、国より高速道路管理会

社に3分の1の33%を負担するよう要請がありました。残りの67%を村が負担し、国からの交付金を充てていきます。(実質、国37%・村30%・管理会社33%)

高齢者世帯や介護扶助金受給者等へ灯油等の引換券を支給する福祉灯油等購入券事業について(705万6千円)

Q 原油価格の高騰は多岐に渡る業種に影響していると思うが村内の経済状況についてどう捉えているか。支援策は。
A しつかり調査し対応していきます。

主な討論

賛成 昨年からのコロナ禍に続き原油価格の高騰で経済的困難を抱える方が多くいると思う。冬季の生活安定の手助けになるようスピーディーな対応をお願いしたい。

採決 全員賛成で可決



12月定例会 109号

目次

11月臨時会のあらまし	2 ページ
12月定例会のあらまし	3 ページ～
総務常任委員会報告	6 ページ～
産業建設常任委員会報告	8 ページ～
政策検討委員会報告	10 ページ
リニア特別委員会報告	11 ページ
一般質問(10議員)	12 ページ～
役場リニア担当の組織編制	17 ページ
自治会役員との懇談会	17 ページ
リニア 南木曾町議会との懇談	18 ページ
議会と村長の懇談	19 ページ
昼神新時代構想の意見交換	20 ページ
あとがき	20 ページ



撮影：議会事務局

今月の表紙 ▶ シリーズ地域の宝

【伍和 宗円寺からの初日の出】

伍和公民館では、1月1日に宗円寺から初日の出を見る企画を行っています。黒丑舞なども披露されます。

用語解説

※ 債務負担行為とは 複数年度に跨る事業を行う際に、あらかじめ後の年度の債務の内容を予算で決めておくこと。

令和3年12月定例会報告

12月定例会は12月6日から16日間の日程で開催し、上程された16件の案件について様々な質疑や討論を交わし審議しました。

Pick up

阿智村全村博物館構想推進 条例の制定について

主な質疑

Q 全村博物館構想は形ができてきたと思うが「構想」を残した理由は。

A 全村博物館構想はまだ発展途上であり、これからも成長していくものです。また、「館」だけではなく「活動」や「運動」も含んでいるため「構想」を付けた条例としました。

主な討論

賛成 以前旅行会社の企画担当を中心にアンケートを取ったことがあり、約70%が阿智村の観光において全村博は有効だと考

えている結果が出ていた。もっと発展して行ってほしい。

賛成 これまで以上に全村民に分かりやすく、共感でき、一人一人が自信をもって行動を起こせる契機となつて、全ての年代層が自分のこととして受け止められるようになることを願っている。

採決 全員賛成で可決

Pick up

財産の貸付について

テレワーク施設に改修した昼神温泉物産館（旧ガイドセンター）の観光局への無償貸付の承認を得るためのものです。

主な質疑

Q 公募を掛けなかった理由は。
A できた当時から観光局（旧観光協会）に管理をお願いしてきた施設です。建物の管理と併せて、ソフト面での活用を一括して委託するため公募しませんでした。

Q 無償となっている根拠は。また、貸付額の見直しは行うのか。

A 当面採算が取れる見通しがないため無償としてあります。経営状況をみる中で貸付額を検討していきます。

採決 全員賛成で可決

Pick up

令和3年度阿智村一般会計 補正予算（第6号）について

主に人件費の増減やコロナ対応、施設修繕、システム改修に伴う補正予算です。

主な質疑

Q 建設的経費が多くある。これに対する実施計画を全員協議会で示していただきたいが考えは。

A できる範囲でお出しします。

主な討論

※特殊浴槽入浴装置設置工事

（阿智荘）について
（1232万円）

賛成 阿智荘の特殊浴槽は老朽化しており修理しようにも部品が無い状況で、常に注意して使用していると聞く。利用者が安心して入浴を楽しめるようになる。



昼神温泉物産館（旧ガイドセンター）

共有林維持管理等補助金について (600万円)

賛成 村独自の事業で評価できる。住民の事を第一に考えた予算執行を。

採決 全員賛成で可決



pick up

令和3年度阿智村一般会計補正予算(第7号)について

主に原油高騰に対する補助金やコロナ関係の給付金、コロナウイルスワクチン接種事業に伴う補正予算です。

主な質疑

子育て世帯への臨時特別給付金について (9820万円)

Q 10万円一括給付となった経過は。

A 10万円一括給付も可能とい

う政府の答弁を受け、庁内で検討し一括給付としました。

クーポンで給付した場合、子育て支援のために使える店舗が少なく、現金の方が目的に合っていると考えたためです。また、クーポンの印刷、郵送料に100万円ほどかかってしまうため現金給付としました。一括とした理由は、システムを改修するため、2回目の給付が3月頃になっってしまうからです。

Q 申請が必要な方がいるということだが現在の申請状況と今後の進め方は。

A 高校生以上のお子様のいらっしゃるご家庭等は申請が必要ですが、対象は121世帯あり、68世帯56%から申請がきています。今後も広報等で呼びかけ、2月までに申請がない世帯には再度通知する予定です。

Q 高校生までの子育て世帯と説明があつたが、働いているお子様は対象にならないのか。

A 「就業していない」という支給要件はありませんので対象となります。ただし、親御さんの所得により対象とならない場合があります。

福祉施設等燃油価格高騰対策緊急補助金について (500万円)

Q 対象となる施設の内訳は。

A 暖房等で使用する灯油、送迎等で使用するガソリンや軽油が対象の燃油です。対象の施設は村内13箇所です。

Q どのような日程で行うのか。
A 可決されればすぐに対象の施設へ書類を送付し説明していきます。11月分からの燃料を対象としています。

新型コロナウイルスワクチン接種事業について (全体で3878万3千円)

Q 3回目のワクチン接種の進捗状況は。

A 医療従事者に1月から、一般の方は3月から開始する予定です。一般の方には12月中に意向調査票を送付する予定です。接種日、会場は村で指定しませんが変更は可能です。

施設園芸燃油価格高騰対策緊急補助金について (350万円)

Q 対象となる施設の内訳は。

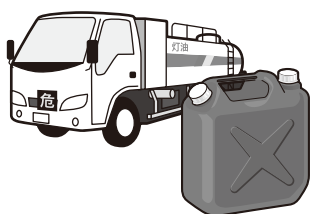
A 対象となる件数は、春日5件、伍和4件、智里1件の計10件です。

主な討論

賛成 昨年からのコロナ禍に加え、昨今の原油価格の高騰は福祉施設や農業者に多大な影響を及ぼしている。有効的に活用していただきたい。

賛成 住民生活に深く関わる補正予算となっている。しっかりとPRしていただきたい。

採決 全員賛成で可決



12月定例会 議案の審議結果

全員賛成で同意・可決した議案

条例の制定	阿智村全村博物館構想推進条例の制定
条例一部改正	阿智村国民健康保険税条例の一部改正
	阿智村健康保険条例の一部改正
条例の廃止	昼神温泉物産館設置条例の廃止
財 産	財産の貸付
指定管理	阿智村昼神温泉観光センターの指定管理期間の変更
	阿智村温泉利用公営施設の指定管理期間の変更
補正予算	令和3年度 一般会計補正予算（第6号）
	令和3年度 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
	令和3年度 介護保険特別会計補正予算（第2号）
	令和3年度 一般会計補正予算（第7号）

請願の議決結果

請 願	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願	採 択
	さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める請願	採 択
	国に対し消費税の*適格請求書（インボイス）等保存方式導入の中止を求める請願【継続中】	*趣旨採択

意見書の議決結果

意見書の提出	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出	採 択
	さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書の提出	採 択



用語解説

- ※ **特殊浴槽**とは 看護や介護の現場で寝たままや車椅子のまま入浴できる特殊な浴槽。
- ※ **適格請求書（インボイス）**とは 仕入に係わる消費税額を正確に把握するために、消費税について「税率ごとに区分した消費税額」等、より細かく記載した請求書。
- ※ **趣旨採択**とは 請願の趣旨（願意）は妥当と判断するが、意見書の提出は妥当ではないという採択。

総務常任委員会

12月定例会委員会報告

阿智村国民健康保険条例の一部改正について

未就学児に係る国民健康保険料の均等割の5割を公費により軽減するもので、国50%県25%村25%を負担します。国の法改正にあわせて行う改正で、一部の規定を新設し、減額の幅が増えることとなります。

阿智村国民健康保険条例の一部改正について

令和4年1月1日より産科医療保障制度が見直される事を踏まえ、出産育児一時金の支給額を見直す改正です。

産科医療保障制度で掛金が1万6千円から4千円減額されますが、一時金を4千円増額することにより支給額は同じです。



阿智村全村博物館構想推進条例の制定について

審議の中で「構想」という言葉はなくしてもよいのではないかとこの意見がありました。企画委員会でご協議いただき、阿智村としての魅力の発見と維持発展の思いを込めて残すこととしました。企画委員会の中では、議会からの意見は肯定的に受け入れられていました。

Q 文化財等が認定された後の扱いはどのようになるのか。

A 認定地域資源としてうたつていきます。また、観光に結びつけてはいきたいですが、すぐわかない文化財もあるため、各々配慮して扱います。



令和3年度一般会計補正予算(第6号)について

例規集加除代 250万円増
昨年今年と条例の一部改正や付則の改正、またコロナ関連の改正が多く、新規の条例が20本も増えました。新年度において一部をペーパーレス化することも考えています。

西部コミュニティバス運行負担金 23万3千円増

阿智村、平谷村、根羽村三村で負担しているバスの修理代です。



西部コミュニティバス

情報関連システム構築委託料 150万円増

マイナンバーカード交付システムの構築のため、使用料として1か月7万円必要で、全額国庫補助金を充てます。

冷温水発生機溶液・冷媒回収処分委託料 165万円増

役場、公民館、コミュニティ館の空調を一括で管理している冷温水発生機の3台あるうち1台から溶液の漏れがあり、修理がきかないため溶液と装置を産業廃棄物として処理をする委託料です。

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業

令和3年1月から3月までのコロナ対策で地方単独で行った事業について、国から配分されてくる新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源振替で充当します。

戸籍システム業務委託料 39万6千円減

戸籍法の改正に伴い令和5年度から戸籍の広域交付が行われるようになり、住民コードと戸

籍を結びつけるためのシステム改修が必要になります。令和3年度から4年度にかけて行われる予定でしたが、法務局より令和4年度に改修を行うとの通知があったため、今年度分39万6千円の減額を行います。来年度再度予算措置させていただきます。

出産育児一時金補助分繰出金 84万円増

出産育児祝金は当初7名分を予定していましたが、10名の出産が見込まれるためその分増額となります。



老人福祉事業

現在阿智村社会福祉協議会で生活従事者研修を実施しています。村から補助金を出しており、その一部の事業が県の補助金の対象となるため、財源振替します。

特殊浴槽入浴装置設置工事

1232万円増

阿智荘で平成19年に更新したもので、10月の保守点検でベアリングやその他の部品の破損が

確認されました。いつ使用不能になるか分からない状態になっており、早急な更新が必要です。阿智荘では現在、1日12人から15人の利用者さんが入浴しており、年間300日以上稼働していることとなります。



阿智荘の特殊浴槽入浴装置

児童発達支援事業負担金 176万6千円増

子供発達支援センター「ひまわり」の市町村負担金と令和2年度の精算分。

障害児入所給付費国庫負担金返還金 13万8千円増

放課後デイサービス等発達支援や相談支援、保育所等相談支援などの障害者福祉福祉サービス

の国庫補助金の精算分です。

児童手当システム改修委託料 47万3千円増

児童手当法の一部改正がありこれに伴うシステム改修費用です。マイナンバーを利用することで受給者の方に現況届けを提出していただくかなくすみます。また特例受給者に所得制限ができたことでも、システム改修が必要になります。この改正は令和4年6月1日から実施になるのでそれ以前に改修が必要です。

施設等修繕費（保育所費） 43万3千円増

伍和保育園の調理室の経年劣化した水道管と、保育室の天井支点のひび割れを修繕します。

健康管理システム更新委託料 240万2千円増

マイナンバーを使い本人や病院が検診結果を見られるようにするためのシステム更新です。今年度のみ国庫補助が付きます。

コロナワクチン接種時間外、休日対応加算 800万円

ワクチン接種当初にはありませんでしたが、国から時間外加算を付けるということになりました。阿智診療所では普段診療を行っていない午後や休日に行っていたきました。橋上医院についてもワクチン接種のみを行う時間を作って実施していただきました。村内の病院で行ったものに対しては大方加算が付くこととなります。



補償費（教育費） 40万円

中学校の修学旅行が2回キャンセルとなったキャンセル料が確定したための補正です。

事務局費（教育費）

公立学校情報機器整備費補助金の中のギガスクール補助金が交付決定されたために財源振替します。

繰入金金の財政調整基金繰入金是一般財源の不足分の9719万5千円から特定財源の4178万円を引いた5541万5千円になります。

産業建設常任委員会



旧ガイドセンターを改修し テレワーク施設として活用していく 信南交通のチケット売場も併設

昼神温泉物産館設置を廃止する
条例の制定について

この施設は、平成4年に地域振興を図る目的で昼神地区に物産展示販売施設として過疎債を財源に設置されたものです。この条例は平成12年に改正され、ガイドセンター等の事務所や集会施設として利用されてきました。今回この条例の廃止について上程されてきました。検討の結果、

- ・ 過疎債の縛りもなくなっていること。
- ・ 設置当時の目的等条例内容と現在の利用状況の相違。

財産の貸付について

この案件は、前述の物産館施設の新たな利用を目的として、

貸付を行うものです。現在、今後の有効利用のため、全額を地方創生テレワーク交付金を活用し、施設の改修と新たにサーバーキングルームの設置を行っています。改修終了後、この施設を阿智昼神観光局へ、無償で5年間貸し出すというものです。

Q 貸出先について公募はしないのか、また無償の理由は。

A この施設については、従来から観光局において維持管理されてきたこと、テレワーク施設として運用して行くが、すぐに収益が上がるかの心配もあり、引き続き観光局に、無償で貸し付けて活用して頂くという考えです。

Q 貸付期間5年とした理由、補助金活用による縛り期間は。

A まず5年間の運営状況を見て、その後の運営方法やあり方について判断して行く考えから

です。今回の補助金の縛りは10年間を目途とされています。

Q 観光局の事業において、村で改修して運営している施設があるが、施設の運営計画の中に人件費も計上するなど、それぞれの施設の独立採算に心掛けて頂きたい。

A 観光局の職員は、いくつかの事業を掛け持ちで担っている現状があり、それぞれの施設への人件費の計上は難しい面もあるが、今後検討します。

このような審議を踏まえ、当委員会としては、この貸し付け

についてお認め致しました。



阿智村昼神温泉観光センターの
指定期間の変更について

観光センターは、昼神温泉内の熊谷元一写真童画館等が同居している施設です。現在は阿智開発公社に指定管理者として運営して頂いていますが、令和4年3月31日で契約期間が終了します。現在「昼神温泉リニア新時代構想」が推進委員会で研究されており、この観光センターのあり方についても検討されています。隣の鶴巻荘については、施設の賃貸契約が最長で令和7年3月31日とされており、今回この観光センターについても鶴巻荘の期間に合わせ、3年間の延長をしたいという内容です。このような状況の中で

- ・ 3年間という短い期間での新たな指定管理者の選考は難しい。
- ・ 開発公社において、継続の意思がある。

という点を確認し、指定期間の変更について、当委員会としてはお認め致しました。



改修中のテレワーク施設

阿智村温泉利用公営施設の指定
期間の変更について

この施設は、湯ったりくな屋神です。前述の観光センターと同様の内容での提案であり、同様の理由で当委員会としてはお認め致しました。

令和3年度阿智村一般会計補正
予算(第6号)について

定住住宅新增改築等支援金
600万円

Q この支援金の今年度の利用状況は。

A 11月までの利用は、村内対象者で13件、Uターン者で3件の合計16件です。現在、村内で7件、Uターンで2件、Iターンで1件で合計10件の申請があり、今回この申請を踏まえ住宅用で3件、宅地分として3件分について補正をお願いするものです。



農業総務費工事請負費
350万円

Q この内容は。

A 今年度、営農指導拠点施設「あちの里」の改修工事を行っています。今回水道に関する問題が発生し、その対応として貯水タンクの設置が必要となりました。5千ℓのタンクとなります。

林業総務費 60万円

Q 新たな事業だが内容は。

A 村内の林業振興を図るため、共有組合・部落・財産区等の団体が所有する、共有林の維持管理等の活動に要する経費について補助をするものです。事業費の2分の1以内、1組織5万円を限度とし、今年度は12団体を見込んでいます。

林道改良工事費 500万円

Q 今回の補正は弓の又線の改良費だが、この林道については

今後の維持管理に大きな経費が見込まれ、負の財産とならないか心配される。この林道に対す

る考え方は。

A 林道弓の又線は、智里西地区から浪合地区に通じる林道となります。地元の要望もあり、県において開設工事が進められてきました。大変な難工事でしたが、この7月に全線開通し今後の維持管理については村に移管されました。しかし、この8月の大雨で災害が発生し、現在は復旧工事が終了までの予定で、通行止めとしています。この林道は地質も悪く急峻でもあり、雨のたびに災害の発生の心配があります。今後の維持管理については、専門家にも相談し計画的な予防対策を講じて行くしかないと考えます。

観光費阿智開発公社補助金
1000万円

Q 湯ったりくな屋神への補助だが考え方、また運営状況は。

A 昨年から続くコロナ感染症の影響で、大変厳しい運営が続いています。今回、年度末までのシミュレーションを行う中で運営資金の不足が見込まれる状況となっています。ただ、この10月においては、コロナ前に比

べて来館者数ではほぼ同等、売り上げではやや多い数字も出ています。感染症の拡大が落ち着いてきて人の流れは出てきていますが、年末年始の人の移動による新しい変異株の拡大、燃料の高騰による経費の増も心配されるため、補助をお願いするものです。年度末に向けて、運営の努力を重ね、補助額を減らすよう努めます。

補正予算第6号について、当委員会所管分について委員会としてお認め致しました。



湯ったりくな屋神

政策検討委員会

「ふるさと森づくり」分科会

- ・リーダー 熊谷恒雄
- ・サブリーダー 井原敏喜
- ・委員 熊谷義文
- ・委員 唐澤浩平

これまでの経過

8月より里山整備利用地域制
度で実践をしている村内5か所
の現地視察を行って来ました。

駒場地区では、城山に遊歩道
を設置する構想のもと、地域の
人々が憩える場に、また観光客
が楽しめる里山を作る作業が進
められていました。

浪合地区では、部落林15畝の
森林整備を行うための作業道の
整備が始められていました。部
落林を若い人達へ繋いでいこう
とする思いをお聞きしました。

智里東地区では、支障木の伐
採が行われていました。地域の
景観や日当りを良くして、生活
環境の向上や冬季の交通安全を
図る取組が進められていました。

視察を終え、各地区での取り
組みは、目的や手法が違う特色
を持つ中、森林の多面的機能の

向上を図っていました。

今後の取り組み

視察による活動の中から分か
ってきた良さや価値、課題解決
の方法などを共有するために、
活動する上で共通に必要なと思わ
れる課題への対応を検討します。



薪の青空市

「定住促進」分科会

- ・リーダー 小林義勝
- ・サブリーダー 井原光子
- ・委員 吉田哲也
- ・委員 吉村金利

これまでの経過

今の村が「住民にとって住み
続けたい」や「住んでみたい」

という環境となっているかを知
るために『阿智村移住定住問題
アンケート』を10月中旬に実施
しました。

ご協力いただいた住民の皆様
にお礼申し上げます。

アンケートの集計結果は回収
率33%となりました。

今回の回収の特徴として、移
住者からの回答が多く、コメン
ト欄に多くのご意見をいただき
ました。

11月にはアンケート集計方法
について議論を行いました。

今後の取り組み

今後は、住民の皆様方からい
ただいたアンケート内容をより
わかりやすく見えるよう数値化
し、年内を目途に集計まとめを
行っていきます。

「医療福祉ケアシステム」分科会

- ・リーダー 田中真美
- ・サブリーダー 大嶋正男
- ・委員 櫻井久江
- ・委員 佐々木幸仁

これまでの経過

福祉の現状を知るため村内の
施設を視察し懇談しました。

人手不足や災害時の対応につ
いて不安の声が聞かれ、福祉避
難所としての機能充実などが課
題としてあげられました。福祉
に携わる人材の育成や雇用体制
が共通課題としても挙げられま
した。

介護が必要になった時「どこ
に相談すればよいか」困ってい
る方もいるようで、住民が相談
しやすい介護相談窓口の必要性
を感じます。

今後の取り組み

医療体制について審議会の答
申内容を検証し政策提言に向け
ての方策を探っていきます。
福祉体制については各施設と
の懇談から出された課題をまと
め、今後の方向を検討します。



夢のつばさ視察

リニア特別委員会



9月15日付でJR東海へ提出した「リニア中央新幹線建設工事に伴う要望書」に対し、9月21日付で回答がありました。特別委員会ではこの内容の確認を行いました。

この中では、項目10番の水資源への影響を懸念し、村独自の調査を行うので、「その費用についてJRの負担とされたい」という要望に対して「すでに弊社にて調査を実施しています」との回答について懸念の意見がありました。

また、提出の際の懇談の中で、洞根・古屋敷・石割地区の水道に係る要望に対して、前向きな話しが出されたことには前進があったと評価するものです。

南木曾町との議員懇談会実施

コロナの影響で延期されていた、南木曾町議会とのリニアに関する情報交換の懇談会を11月25日に行いました。今年は南木曾町の当番で、工事状況の視察では、この1年の間に広瀬地区、

尾越地区の2カ所の斜坑口のヤード造成工事が進んでいて驚きました。詳細は後述のとおりですが、南木曾町においても残土置き場の確保が進んでいないという話しを伺いました。両町村とも調査を行っている残土置き場は、急峻な地域であり、今後の大きな課題です。

残土置き場の候補地視察

12月5日に、村の対策委員会の方々と一緒に、リニア工事における残土置き場の候補地としてJR東海が調査を行っているクララ沢・坊主沢・坊主ヶ島と中電の水力発電所工事に係る残土置き場の視察を行いました。

候補地は、大変急峻な場所という認識は持っていました。当議会の新しい議員は現地を見るのは初めてであり、道の無いような場所まで入って説明を受け、有意義な視察となりました。

クララ沢については、昨年の段階で大まかな設計と工法が示されており、その図面で説明を

受けました。

中電の工事における残土は、すでに全体工事も進んでおり、七ヶ平地区においては2万3千m³で概ね終了、小黒川地区においては6万2千m³で最後の4段目への搬入となっています。

特別委員会での検討はまだ行っていないですが、視察後の各議員から提出頂いた主な感想です。

・上流へ残土を置くことは心配。末代のことを考えれば、下流域で考えるべき。安心安全が確保できるか。

・坊主沢・クララ沢については、谷も深く傾斜も20度以上で心配される。思った以上に水量もある。

今後は、同じような地形で、すでに工事が行われている場所の視察を行いたいと考えています。

残土置き場については、JRの調査に時間がかかっています。急峻な地形であり、それだけ慎重な設計を行っているとも考えます。今後、調査報告を受け、

村としての判断をしなくてはなりません。このような状況の中で、当委員会としては、行政に対し最終判断しなければならぬ、村の立場を踏まえ、「専門家による第三者委員会」を早急に立ち上げ、意見を頂くことを要望しています。

今後の重要な案件に対応すべく、庁内の体制の強化をお願いし、副村長をリーダーとするチーム体制としたとの報告を受けました。

補正予算第6号について

【歳入】 1272万円

JR東海からの負担金

【歳出】

・道路用地購入費 182万円

・物件補償料 1090万円

特に異議なくお認めしました。



発生土置き場候補地のクララ沢

補聴器購入補助について

来年度予算に向けてよい方向にと考えている

大嶋正男



問 阿智村功労者表彰規定について。

村長 表彰規定については昭和46年から始まり、その後平成13年9月表彰条令が平成18年には表彰要項が制定されてきました。

問 感謝状については。

村長 金額の大小ということではなく、前例を元に判断したり議員、課長含む審議会もあります。

問 村の医療体制の今後について、昨日12月16日「保健医療審議会」の答申が出されたが、凍結されている内容は、審議会の中で説明されているのか。

村長 委員の皆さまには説明してあります。

問 凍結を解いた時どうか。
村長 医師不在だけは避けたく、その時凍結を解く事もあります。今後も公的な村の診療所として運営していきます。

問 補聴器購入補助について。

山本民生課長 村では現在身体障害者手帳の高度の難聴、18歳未満で中度から軽度の難聴のお子さんについては補助制度があり、多くの自治体でも実施されています。18歳以上軽度、中等度の補助は、県内では6自治体で実施されていますが、各自自治体の裁量に任されています。

村長 飯田下伊那ではまだ実施している自治体はなく、来年度予算に向け、よい方向にいければと考えています。

問 熱中症対策として、高齢者世帯へのエアコン設置補助について。

村長 飯綱町が現在取り組まれています、購入費の半額、上限三万円補助が全国的な流れで、状況を見ながら進めていきます。

意見 最後になりますが、現在すすまれているわいWai公園の計画ですが私は納得できるものではない。駒場地区の地区計画と合わせた形で発電所下の計画を進める事がよいと思う。

奨学金返還支援の新たな仕組みを

阿智村も創設してはどうか

財源の確保を含め、調査研究を進めていければと思っています

井原敏喜



問 水道管路の法定耐用年数は40年だが、本村の管路の経年化率は何%か。

井原生活環境課長 40年経過した本村の管路の経年化率は、13%となり、全国平均の約19%より低い値です。

問 有収率の向上のため、漏水調査をどのように実施しているか。

生活環境課長 毎年、調査区域を定めて専門業者に漏水調査を委託しております。

問 水道事業の健全な運営を確保するため、水道料金の今後の在り方は。

生活環境課長 村では5年に5%程度の増額をお願いしていますが、コロナ禍の中、様子を見てというのが現状です。

問 今後、水道事業を民間業者に運営を委託することが有り得るか。
村長 運営そのものを委託

することはありません。「部分的な業務委託」は可能となりますが、安全安心が担保された上で、管理運営を行っていく必要があります。導入には慎重に判断していく必要があると考えます。

問 若者の定住の促進を図る観点から奨学金返還支援は有効と考えるか。

長谷川協働活動推進課長 若者の定住施策として効果のある手段となる可能性はあります。対象者となる学生や保護者へのニーズ調査や、広域連携の中で慎重に検討していく必要があると考えます。

問 村内企業もとより、飯田、下伊那の企業に対しても、メリット等を説明し、奨学金返還支援の導入の促進を図るべきと考えるか。

熊谷地域経営課長 企業向けの新卒者採用説明会や商工会を通じて、企業への情報提供を図ってまいります。

問 奨学金返還支援の新たな仕組みを阿智村も創設してはどうか。

村長 実施している自治体の状況を見極め、財源の確保を含め、調査研究を進めていければと思っています。

不登校児の社会性育成へ 地域住民とのかかわりをどう考えるか 子ども食堂などの民間活動は重要な役割と考える

田中真美



問 不登校児童生徒について

阿智村の現状と要因は。

黒柳教育長 昨年度、小学生2名中学生12名でここ5年ほど増加傾向です。要因はいわゆる「中1ギャップ」、家庭環境や学業不振、発達障害など様々な要因が複合化している現状です。

問 対策と支援体制は。

教育長 中学入学前に2回児童交流を行う他、小中交流、支援会議など小中連携し、また月1回の支援会議で保護者のニーズを把握しています。

問 多様な学びの場の提供

教育長 教育支援センターの体制と利用状況は。

教育長 支援員1名を配置し、開設して今年で3年目、今年度は小学生1名、中学生2名が通室しています。

問 社会性を育むために、地域住民との関わりが重要と考えるが。

教育長 地域住民との関わりによる社会性の醸成は大変重要と考えています。子ども食堂は居場所の一つと捉えています。今後、地域住民の活動に対してどのように支援していけるか検討します。

問 中学卒業後の進路と支援継続体制は。

教育長 昨年度卒業生は通信制・定時制高校へ5名、全日制高校へ2名が進学しています。支援センター利用者は高校進学後も相談できる体制をとっています。

問 阿智高校へ支援学級の設置、夜間中学の開設など学習機会確保への検討は。

教育長 阿智高校への支援は村の存続のためにも必要と考え、高校と連携して支援内容を検討していきます。

問 教育行政の在り方は。

教育長 保護者の教育方針や児童生徒の願いにより、それに応える教育や教育環境整備をするのが教育行政の役割と考えます。

意見 どんな子も社会へ踏み出す時に、基礎的学力を身につけ、自分の歩む道を自ら判断して進む力を育てられる地域でありたい。

農業振興とふるさと納税の連携による地域活性化について

基盤産業の農業の活性化の問題はしっかり取り組む

吉村金利



問 全農業者への新たな支援策の進捗状況は。

櫻井建設農林課長 現在次年度に向けて、例えば農業機械の購入、スマート農業に関する支援検討をしています。具体的内容までは至っていない状況です。

問 検討中の具体的財源はどのように確保するのか。

建設農林課長 国等の新たな補助策はまだ示されていませんが、今後活用できる制度は積極的に取り入れたと考えています。

問 国会にて水田活用の直接支払交付金の見直し案が表明されたが、村長の所見は。

村長 国の状況は詳細が判明したところで直ちに対応します。遊休農地の問題は昨年度より専門職員を設置し、大豆等の転作を推奨し耕作地の減少をくいとめる

ことを重要視しています。

問 前回、ふるさと納税の提言をしたが、その後の動きは。

山口総務課長 来年度に向けて充実するよう取り組んでいます。納税サイトを1社から3社へ増設します。返礼品も農産物を含め見直しの指示をし、各機関へお願いをしています。

問 阿南町信州アトム視察も含めて今後の水田活用と農地の維持保全についての根本的考えは。

村長 水田維持管理について、信州アトムの視察は大変参考になりました。ライスセンター、ふるさと納税利用の販売までをJAと早速に話し合います。

昼神温泉への米の需要と供給の検討をします。貯蔵庫の設置、ふるさと財団アドバイスとマーケティング検証、基盤産業の農業の活性化の問題はしっかり取り組んでいきます。



・村政懇談会を終えて

村単独ではできない、支援金制度等活用し、住民と一緒に取り組む

・組織、活動内容の検証について

産業振興協議会を中心とし、工場環境、人材育成に取り組む

・令和4年度予算編成について

過去の状況を踏まえ、第6次総合計画後期予算作りを行う

小林 義勝



問 村政懇談会答弁での「しっかりと対応します」のしつかりの意味は。

村長 環境の維持管理は全村の課題、住民と一緒になつて行える策を検討します。

問 住民評価を踏まえ、村長ご自身の評価と、実のある村政懇談会とする為には。

村長 今後、毅然とした態度を心掛けます。また2年前から、3分科会に分け、グループ討論を行い、村政に関わる詳細内容を説明しています。

問 再発防止策も兼ねた、村長の行動規範は。

村長 交渉の場合、極力担当部署を交え複数で対応します。単独での交渉の場合は、結論を持ち帰り、庁舎内で検討します。

提案 交渉の場として、内容の重要度を加味し、極力庁内で行う。

問 村内の経済循環に関わ

る組織・活動の内容と結果については。

村長 産業振興構築に向け、産業振興協議会（以下、協議会）商工会、観光局他、各団体のトップの方々による村の経済について、会議を開催しています。

問 協議会でのまちづくり議論を受け、どのように感じるか。

村長 産業関連は、七久里工業団地への道路拡張、工業用地確保。人材育成では、若年のキャリア教育を実施しました。

問 令和4年度予算編成への理念及び村政懇談会結果の反映は。

村長 ・過去の反省を踏まえ令和4年度予算作る。医療充実による安心安全確保・人材育成（若者からのポトムアップ施策）を行います。

問 既存組織の見直しは。

村長 時代の変化に合わせて臨機応変に対応します。

問 協議会、懇談会を前倒しに、予算計画をしては。

村長 各団体・組織等、事前検討されており、令和4年度予算には織り込み済みです。

発生土置場候補地 反対の声が多ければ
引き返す勇気も大切と思うが
県のアドバイスを聞き進めていきます

櫻井 久江



問 議員によるリニア工事の発生土置場候補地視察で、熱海の事故もあり、心配の声が多くあるがどう考えるか。

村長 熱海のような工法では決まないと聞いています。JRには早く調査結果を出していただき、住民への説明を経て、専門の第三者機関に検証をお願いしたいと思えます。

問 調査結果が出て来ないのは、この地が適していないからではないか。

村長 おおよその計画図は出てきていますが、正確なものではありません。早く出すようJRに要望していきたいと思えます。

問 南木曾町では発生土置場候補地を住民の反対で白紙にした。住民の反対が大きければ、引き返す勇気も首長として大切と思うが。

村長 南木曾町との情報共

有や県からのアドバイスをいただいて、進めていきたいと思えます。

問 南木曾町には県からの派遣が来ていると聞いているが、村でも県からの派遣や専門的職員を入れる考えはあるか。

村長 可能なら専門的な人に入っていたらいいように検討していきたいと思えます。

問 七久里の埋立検討地は第一種農地で改変できないと聞いているが解消する方策はあるのか。

村長 地権者の意向を聞きながら、可能性を探っているところ です。

問 南木曾町ではリニア活用基本構想がある。村でも清内路や七久里のリニアに関する地区計画を立てる必要があると思うが。

村長 各地域、全体のリニアが来た時の計画を少しずつ考えながら進めていきたいと思えます。

問 3期目の公約にリニアの諸課題に対する道筋を示していただきたいが。

村長 リニアに向けしっかりと対応していきたいと思えます。

脱炭素社会に向けて公用車を電気自動車へ

国の補助金制度を使用しながら検討

唐澤浩平



問 ドライブレコーダーについて

答 本村の公用車には何台もドライブレコーダーが搭載されているのか。

山口総務課長 本村の公用車のドライブレコーダー搭載車は14台です。教育委員会管轄の児童生徒運送用自動車、バスやハイエース6台全てに搭載し、児童生徒の移動、遠征等に使用する車両には搭載しています。

エコドライブ教育システムを導入について

問 エコドライブ教育システムを導入されたようだが現在使用しているのか。

総務課長 以前使用していたエコドライブシステムは現在使用しておりません。システム機器の端末の故障が多く、その修繕対応ができませんというので使用できなくなり、それ以降使用

問 しておりません。故障の原因は。

総務課長 本来、自動車につけっぱなしにして使用するもので、公用車のように運転手が車に1回1回使用するときに付け、降りるときに取り外すものではなく、それが故障の原因です。

車両更新の計画について

問 車両更新の計画はどのようにしているのか。

総務課長 車両更新については、その車の使用年数、走行距離、故障状況、修理状況により優先順位をもつて行っています。

脱炭素社会に向けて車両を電気自動車へ

問 脱炭素社会に向けて車両を電気自動車にする考えはあるか。

村長 役場が率先して取り組んでいかなければならないと思っています。観光地ですのでEV車も入ってきます。国の補助金制度をうまく使用しながらこれから検討し実行してやっていくことが大事だと思います。

森林資源活用の歯車が回るしくみを動かし、美しい里山を作る

森林所有者・団体と里山整備地域協議会とNPO法人あち森とアグロフォレストリー事業が連携する未来
市内での横断的な協力体制を高め住民サービスの向上をめざす

本人から申請をいただかないとご提供できない支援事業があります。分からない時はまず電話でご相談を

熊谷恒雄



問 里山の風景を残す林業振興の評価は。

村長 森林環境譲与税を使って森林経営意向調査や路網整備を行い、支障木は、県の森林税を利用して河川沿いや公的施設周辺の伐採を行っています。里山整備協議会、NPO法人あち森など、住民自らの村づくりが進んでいます。

問 令和3年度事業における森林整備事業・森林資源利活用推進事業の評価は。

櫻井建設農林課長 住民による里山整備協議会の活動、共有山への支援制度、NPO法人設立などにより、森林資源の歯車を回すしくみができつつあります。

問 村民は、人口減少高齢化の中、村道の草刈りや支障木伐採への支援を求めているが村長の考えは。

村長 お困りの方々に親身になって対策を考えます。

地域を助けていただけるとの方々をつなぎ、共に取り組むたいと考えています。

問 阿智村臨時福祉給付事業の推進状況と困難点は。

山本民生課長 現在256世帯431人へ支給済みです。困難な点は、本人から申請いただかないと給付ができないことです。支給にむけて広報や防災無線での呼びかけや、福祉職員やケアマネさん、民生委員さんなどにも協力頂いています。

問 非課税世帯であることを知る方法は。

熊谷出納室長 納税通知書が来ない方は非課税と考えられますが、未申告により課税されていない場合もあります。役場窓口にて口頭でお伝えできます。個人情報のため、電話ではお答えできません。

問 村から非課税世帯だけに通知を出す方法はないか。

牛山副村長 地方税法では、税情報は課税の目的以外に利用できない大原則があります。今後、今回の経験をふまえ、特定の給付事業に上乗せするなど、制度の創設や市内での横断的協力体制を構築していきます。

昼神温泉新時代構想の詳細は

概算事業費は26億円

湯ったり～なのプールは「残す」。公営保養センター(鶴巻荘)は「他の施設と競合しないよう、泊・食分離とする」

佐々木幸仁



問 過日の昼神温泉リニア新時代戦略等推進委員会で示された図面は村長の方針として理解してよいか。

村長 幹事会のもとの案で、私の方針です。

問 3期目の立候補にはこの構想を掲げて村民の信を問うものと思うが。

村長 村民への約束として示します。

問 村民の健康づくりの中心である、水中運動対応のプールは先の会議で「残す」と、発言したが良いか。

村長 湯ったり～なのプールは残すと発言しました。

問 プールを残すなら、今プールで不自由している、可動床や流水施設を計画的に修理すべきだ。多くの人々が利用している水中運動は今後、超高齢化社会を迎える中、住民の健康づくりや予防活動の拠点として充実すべきと思うが。

村長 健康に特化した施設が湯ったり～なです。改修も必要です。最小限の改修で維持していきます。

問 公営の保養施設は計画案によると、宿泊施設と宴会施設が事業計画化されているが、規模が相当縮小され、中途半端ともいえる施設だ。これでは村民に潤いが生まれぬ。村民が望んでいる施設とは程遠いものと推察されるが。

村長 「鶴巻」というブランドは残しますが、他と競合する施設は良くないと思います。現在は泊・食分離形態が好まれるので、今後細かなことを詰めていきます。

問 事業費は26億円と発表した。巨額な金額に驚いた。事業費を昼神の各施設にも応分のご負担をいただくべきと思うが。

村長 事業者と相談します。

問 運動公園の変更はあり得ないと言いついて説明会を開いているが。

村長 変えられないことはありません。若い世代の意見をしっかりと聞いていきます。

村内の農産物を一時的に保管する

大型の貯蔵庫の設置を

今後の農産物需要対応に必要な施設と考え、検討を始めている

一般質問

熊谷義文



問 アグロフォレストリー事業における、養液栽培、ココバック栽培の状況と将来性は。

櫻井建設農林課長 試験的に取り組み3年目を終える時期となります。病害の発生により、令和2年度に比べ、売り上げでは半分くらいになりそうです。同一ハウスの中で2品目を栽培、ハウスが狭い等の課題が見えてきています。当初の投資は必要ですが、栽培方法としては普及できると考えています。

問 村内における農産物の需要を増やすため、一時的に保管できる、大型の貯蔵庫が必要と思うが。

村長 現在、産業振興公社に設置してあるが、手狭になつてきており、米の保管も可能な貯蔵庫設置に向けて、場所も含め検討を始めています。

問 月川等のリフレ事業で取り組んだ施設の設置条例が廃止されている。今後の運営がどこになると、地域振興のために建設したという目的や意義を残すため再度、条例に復活させるべきと考えるが。

村長 現在、月川の運営は開発公社にお願いしていますが、令和4年3月31日で契約が切れます。今後の運営のあり方については検討委員会でも検討します。

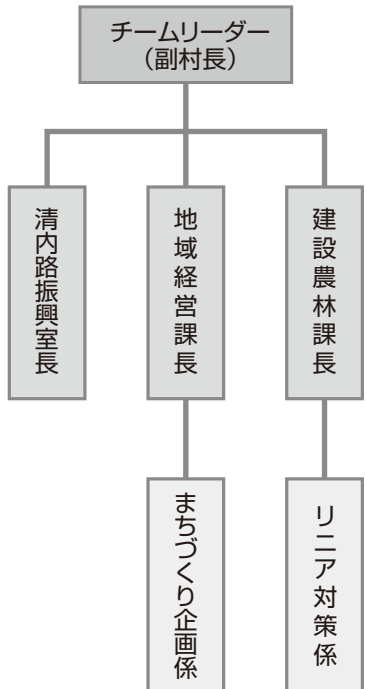
要望 条例設置の可否は、村長の姿勢や考え方で決めること。検討委員会で議論する内容ではない。検討委員会では先に考えを示していただきたい。

問 今回、県において迷惑防止条例が改正された。近年、村内の過去の事案に対し、事実でない内容でプログへの書き込みや文書が配布され、住民に不安を与えたり、名前を出された方が苦痛を感じている。県条例の適用や独自の条例設置は考えられないか。

村長 すぐに条例設置とはいかないが、状況には危惧しており、専門家に相談して対応したいと思えます。

役場リニア担当の組織編制【リニア整備対策チーム】

リニア整備対策チームの組織図



阿智村のリニア新幹線工事につきましても、萩の平非常口は着々と工事が進められています。発生土置場についても調査中ではありますが、結果は近いうちに表示されるものと思われまます。また新たに七久里の埋め土の問題も加わり混沌としない為にもリニア対策室の設置が要望されておりました。地元、対策委員会、議会それぞれ要望されたものであります。

11月1日より副村長をトップに、建設農林、地域経営、清内路振興室、更に庁内横断的な取り組みとなるように配置をされました。阿智村にリニア効果をもたらすことのできるような、よりよい企画、実施を期待するものです。

櫻井 久江

11月1日より、リニア中央新幹線に関する諸課題に対応するために、対策チームを組織し、そのリーダーを務めることとなりました。

リニア中央新幹線は、2027年の開業を目指して、工事が進められており、当地域にとっても、経済効果など、大きく期待されている事業です。

しかし、清内路地区の萩の平非常口工事に関する工事用車両の通行や発生土の処分問題、七久里地区における洞地の埋立検討等、住民生活に大きく影響のある諸課題があります。住民の皆様のご意見等をよく聞く中で、課題解決に向けて、責任を果たし、地域の振興策についても考えてまいりたいと思っています。

チームリーダー 牛山 明彦

議会と自治会役員との懇談会

令和3年度の議会と自治会のみなさまとの懇談会は、コロナ第4波、第5波を受け実施できませんでした。そこで各自治会の役員の方々と相談し、各自治会役員の方々との懇談会を9月に実施しました。

懇談は議会を4チームに分けて少人数で行い、10月に全員協議会で情報共有を図り、総括をしました。

各自治会で出された話題を共有すると、各自治会の課題と同時に通ずる課題も見えてきました。それらをまとめると以下のようになります。

① 人口減少問題への対応

- ・ 定住支援を充実が必要。空き家利活用、働ける場づくり(工場誘致など)等
- ・ 農業後継者問題をどうするか。草刈り、雪かき、支障木伐採などが人手不足で十分にできなくなってきた。

- ・ 高齢化、少人数化に対応した各種住民組織の在り方が求められる。

② 自治会が村に出した要望に対し、いつまでにやる等できるだけ具体的な回答がほしい。

③ 地区5か年計画の総括、策定、実施中の点検を自治会とのキャッチボールを密にされたい。

議会では全員協議会の後、右のことと各自治会ごとの課題をまとめ、村で行う行政懇談会に生かしていただきたいと申し添え、村に報告書として提出しました。

報告書については、村のHPからダウンロードできます。

<https://www.vill.achi.lg.jp/soshiki/24/r03zitikayakunmkonnann.html>



吉田 哲也



南木曾町議会とのリニアに関する懇談会



広瀬非常口付近の発生土置き場

11月26日南木曾町議会議員との懇談がありました。リニアということでまず南木曾の現場を視察しました。

南木曾町の中央アルプストンネル、萩の平・広瀬工区の「広瀬非常口」及び尾越工区の「尾越非常口」を視察しました。広瀬非常口は斜坑を約1.9km掘削したのち、本線トンネルを阿智村清内路へ向かって掘削する



広瀬非常口の土砂ピット

もので、非常口ヤードの造成が進み、対岸への仮設橋が完成し、土砂ピット(建物)の鉄骨工事が行われていました。

尾越非常口は、本線トンネルを岐阜県方面と長野県方面の両方へ向かって掘削するもので、非常口ヤードの造成が進み今後対岸へ渡る橋梁が建設されることでした。仮設橋や土砂ピット等いずれも仮設で工事後撤去されるものですが、鋼鉄製の骨組みを目的にすると非

常に強固なものである印象でした。

蘭川沿いに位置し豪雨による山腹崩壊など所々見られ、山肌は砂地となり周辺の地質は砂地で強くない印象を受けました。天が開け清内路萩の平よりずっと広く感じましたが、地質は萩の平の方が硬く強い気がしました。

コロナにより久しぶりの懇談でしたので話が弾みました。リニア活用基本構想が作成されており南木曾町の方が前向きかと感じました。また、発生土置場も決まっていた場所を住民の反対でとりやめ、全く決まっていないとのことでした。阿智村においても不安のある計画なら一度練り直す覚悟も必要なのかとも感じた場面でした。

隣同士いずれもリニアに向き合う町村です。これからも、より交流を深めて助け合っていきたいとの合意に達しましたので今後に期待をして帰ってきました。

櫻井 久江



リニア工事に伴い改良された道路



広瀬非常口掘削予定地

議会と村長との懇談

熊谷村政2期を振り返る



議会では、村長選を目前とするこの時期、課題の棚卸を行うことが必要とし、議員全員に意見を寄せていただきました。それをまとめて資料とし、全員協議会の場で村長と意見交換をしました。一部は12月定例会において一般質問のかたちで質疑応答され、住民の皆様にも内容を見ていただくものですが、懇談内容を網羅することは難しいので、ここで議会が出した意見のポイントを記します。

1 総務委員会関係

- ①職員が村のことをもっと知ることができるようになるべきでは。
- ②庁舎内の「ほうれんそう」はできているのか。
- ③職員が増えたことの効果は検証できているか。
- ④役場のゆるみや意識の低下があると指摘されている。

- ⑤村の医療体制をどのようにするのか。飯田病院と現在協議はしていないということではないか。
- ⑥行政効率が悪い村の中の福祉をどう考えるか。
- ⑦阿智荘からの提言を検討しているのか。
- ⑧住民の声に如何に耳を傾けるか。男女共同参画の計画策定の中で課題を感じる。
- ⑨地域維持と学校の問題をどうするか。
- ⑩信州大学新学部誘致を積極的に。

2 産業建設委員会関係

- ①将来構想をどうする―負のスパイラルからどう脱却するのか、財政計画を明らかに、旅館の負担は考えるのか、住民への説明が不足している、福祉の目線を。
- ②観光局の事業について住民のみなさまに説明不足では。

- ③月川を改めて条例で位置付ける必要があるのではないか。パークランドはどうするか。
- ④企業誘致を積極的にしては。
- ⑤役場周辺道路改良は。
- ⑥農地保全、農業将来構想は。
- ⑦基盤産業の農業、大いに力を入れるときは。
- ⑧林業里山整備に対する積極的総合的対策は。
- ⑨ハザードマップと地域振興、どう両立するか。
- ⑩教員住宅を移住者が入れるように活用されたい。
- ⑪下清内路の公園整備をどうするか。
- ⑫最終処分場の方針はどうするか。

3 リニア特別委員会関係

- ①熱海以後の発生土置き場の問題をどう捉えているか。
- ②七久里の洞に残土を置き土地を改良しようとする構想、第一種農地で原則改変不可の縛りがある中で、そもそもできるのか。

4 村長に関する事

- 村民からの提案が村長宛てにあった場合、どのようにして

いるのか。必ず所管の課長に伝えていくのか。
• 大型事業を構想しているが今期最後の一般質問で今までと同じような答弁が繰り返されるようであれば、3期目に向けての政策も気概も感じられないが。
• すべての人に優しい村長だが、時には正すことも必要だと思う。自分の思う人づくりや村づくりをもっと前面に出してみたらどうか。他
以上です。

吉田 哲也



信大の誘致が検討されているエスバード



昼神温泉リニア新時代構想についての意見交換

阿智村の巨大プロジェクトになるであろう昼神温泉リニア新時代構想について、村長を会長に、昼神経営者中心に組織された推進委員会幹事会では精力的に議論が行われているところで、現段階で村から報告がある新時代構想計画をもとに、その感想・意見を議員から述べ、村長がコメントするという形で意見交換を実施しました。その概要を報告します。

●全体

議員 鶴巻荘と湯つたりくな中心の計画。昼神全体の構想を考へていない。住民福祉、村の歴史や文化をどう取り入れるか。

村長 まずは村有地である両施設等を中心に話を進めています。文化・歴史・福祉は当然大切。

村民の憩いの場、健康福祉、農業、情報発信の場とし、落ち着く「和風」の、鶴巻の名を前面に出した建物に計画したいです。

●鶴巻荘

議員 村民に親しまれている宴会+宿泊機能は必要では。

村長 宴会が気楽にできるよう

な施設を想定しています。他の旅館と競合しないシングル宿泊などを検討しています。

●直売所

議員 直売所の単独運営は無理ではないか。朝市との関係は。

村長 直売所は検討委員会で練っていたら、冬場の商品の調達、加工品、売れ残った野菜を活用した食堂などを検討し、集客が見込める昼神に、という回答をいただきました。朝市組合とは話しをし、朝市をメインにブースを置き、朝市からやっている産直市場というコンセプトにしたいと考えています。

●熊谷元一写真童画館

議員 開発地区にある元一写真童画館は話を聞いていないと耳にした。問題ではないか。

村長 話しをさせていただき、現地で施設に入れるか、他の場所かを今後検討します。

●プール

議員 プールは健康づくりの面で必要だが赤字継続でいいのか。

村長 意見は様々ありますがプールは残そうと考えています。老朽化しているので改修するか、新たにづくり学校の利用の併用

がいいか、今後検討します。議会では教育現場のプールのことを教育委員会を差し置いて協議することは疑問としました。議会では議決の際に突然協議するのではなく、今後も村と意見交換をしていきたいと考えています。

吉田 哲也

ご意見・ご感想を議会事務局までお寄せください。また、議会傍聴にいらしてください。



議会事務局

電話(43-2220)
FAX(43-4365)
E-mail gikai2@vill.achi.lg.jp



★こちらをご覧ください。
阿智村 HP <https://www.vill.achi.lg.jp/>



あとがき

議会が改選され、初めて議会だよりのあとがきを書かせていただき早いもので2回目の登場となりました。毎回のことですが、なかなか筆が進まず……用紙にとらめっこすること〇時間、あとがきのプレッシャーは書くものにとつて一番の悩み事です。さて、皆様がこのあとがきを目を通してくださる頃には新型コロナウイルスのオミクロン株はどうなっているのでしょうか。それとやはり関心ごとは村長選ではないでしょうか。告示まで間近だと思えます。

予想通り村長選になれば19年8月以来の選挙になります。年に4回の議会、たよりですが、みなさんに待ち遠しいと思っただけのような議会だよりに取り組んで参ります。

委員長 唐澤 浩平

